

奈良県結核ガイドライン2020年達成目標

結核罹患率の目標		2015年	2020年目標	2022年	達成状況
1	結核罹患率(人口10万対)	16.8	10以下	9.3 (2021年9.2)	○
早期発見 - 発見の遅れの減少 -					
2	発病から初診までが2か月以上の割合	15.7% (N=108)	10%以下	23.1% (N=52)	×
3	初診から診断までが1か月以上の割合	21.5% (N=130)	15%以下	18.6% (N=59)	△
4	結核患者を診察した医師からの診断日の発生届	88.4% (N=295)	100%	89.5% (N=163)	△
早期発見 - 接触者健康診断 -					
5	家族健診受診率	99.0%	100%	100.0%	○
6	接触者健診(家族以外)受診率		100%	99.8%	○
適切な結核医療の提供 - 服薬支援の強化 -					
7	医療が必要な全結核患者中DOTS実施率		100%	99.0%	○
8	コホート分析 治療失敗中断脱落割合	2.1%	2%以下	0% (N=121)	○
9	潜在性結核感染症の治療を開始した者のうち治療完了者の割合	95.7%	95%以上	84.1% (N=44)	×
原因の究明および予防対策					
10	分子疫学調査(塗抹陽性患者のみ)の実施率	48% (N=90)	100%	58.6% (N=53)	△
11	生後1歳に至るまでの間にある者のBCG接種率	97%	95%以上	97.5%	○
12	小児結核罹患率(小児人口10万対)	0.6	0.0	0.0	○

✓結核罹患率(人口10万対)は、2021年に9.2と目標を達成

✓医療が必要な全結核患者のDOTS実施率については目標をほぼ達成できたが、新型コロナウイルス感染症対応のため潜在性結核感染症患者等へのDOTS実施率が低下し、潜在性結核感染症の治療を開始した者のうち治療完了者の割合も悪化

✓分子疫学調査(塗抹陽性患者のみ)の実施率はやや改善したものの、新型コロナウイルス感染症対応のため十分に菌株の収集ができず、目標を達成できなかった